

次世代リーダー育成部会 実施報告

◇主催 一般財団法人日本私学教育研究所 ◇後援 日本私立中学高等学校連合会

研究のねらい

未来に思いをつなぐ私学のリーダーシップ

私立学校はつねに時代の変化・社会の要請を考え、それぞれの建学の精神、創立者の思いを核に先見性をもって特色ある教育に取り組んできた。先行き不透明な情勢下であっても、子供たちの創造性を育むべく、各学校は未来を見据え、自ら進化し続けなければならない。そのために、教職員のモチベーション・スキルを更に高め、チーム一丸となって閉塞感を打ち破り、ともに新たな課題にチャレンジしていくしなやかさと強さを併せもつリーダーが求められている。

今年度当部会では、「未来に思いをつなぐ私学のリーダーシップ」を研究のねらいに創立者の思いを未来につなぎ、先進性を発揮していくためのリーダーシップについて考察を深める。私学のトップリーダーによる講話、開催地ゆかりの企業経営者による講演、愛光中学・高等学校の学校視察を行う。また、意見交換会・ネットワーキングパーティ等の交流プログラムでは、リーダーが本音で語り合うネットワーク構築の機会を提供する。

会 期 令和4年11月17日（木）～18日（金）

会 場 ANAクラウンプラザホテル松山

〒790-8520 愛媛県松山市一番町3-2-1（松山空港からバス約30分／タクシー約20分）

参加者数 51名

参加対象

A. 次世代リーダー（次世代の理事長・校長等）を志す者

B. ニューリーダー（新任の理事長・校長等）

C. 次世代リーダーを育成する現職リーダー（現職の理事長・校長等）

※ 参加対象校：都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

プログラム

○講話

吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長
日本私立中学高等学校連合会会長

近藤 彰郎 一般財団法人日本私学教育研究所理事
日本私立中学高等学校連合会副会長
一般財団法人東京私立中学高等学校協会会長

○講演

「社員教育で悩んでいます。」

宮内 大介 三浦工業株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO

○学校視察

愛光中学・高等学校

自然美あふれる新キャンパス・緑の学舎で「世界的教養人」を育む

〒791-8501 愛媛県松山市衣山5丁目1610番地1（伊予鉄道「西衣山駅」から徒歩約10分）

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20
		30				30	40	50	50		40	
11月17日						受付	開 会 式	講話	意見交換会	講演		ネットワーキン グパーティ
11月18日		移動	学校視察 閉会式 【愛光中学・高等学校】	移動								

☆研修会日程☆

【1日目】 11月17日（木）

【会場 ANA クラウンプラザホテル松山】

13:30～ 14:00	受付	《全体会場》南館4階<エメラルドルーム>																		
14:00～ 14:30	開会式	司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 ☆開 会 ☆主催者挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長 ☆開催地代表挨拶 中村 道郎 愛媛県私立中学高等学校連合会会長 ☆研修会運営方針説明 菅沼 宏比古 次世代リーダー育成専門委員長 ☆来賓・役員・専門委員紹介／日程説明																		
14:40～ 15:40	講話	吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 日本私立中学高等学校連合会会長（中央教育審議会委員） 近藤 彰郎 一般財団法人日本私学教育研究所理事 日本私立中学高等学校連合会副会長 一般財団法人東京私立中学高等学校協会会長																		
15:50～ 16:50	意見交換会	本館4階<オパールルーム>/<ガーネットルーム> 南館3階<アメシストルーム> 討議テーマ 「未来に思いをつなぐ私学のリーダーシップ」 ※次世代リーダー育成専門委員がファシリテーターを務め、グループに分かれて、喫緊の課題等について意見交換を行います。																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>グループ</th> <th>ファシリテーター</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グループⅠ</td> <td>菅沼宏比古 専門委員長</td> <td>本館4階「オパールルーム」</td> </tr> <tr> <td>グループⅡ</td> <td>森 涼 専門委員</td> <td>本館4階「ガーネットルーム」</td> </tr> <tr> <td>グループⅢ</td> <td>梅村 光久 専門委員</td> <td>本館4階「ガーネットルーム」</td> </tr> <tr> <td>グループⅣ</td> <td>前田 均 専門委員</td> <td>本館4階「ガーネットルーム」</td> </tr> <tr> <td>グループⅤ</td> <td>平方 邦行 理事・所長</td> <td>南館3階「アメシストルーム」</td> </tr> </tbody> </table>	グループ	ファシリテーター	会場	グループⅠ	菅沼宏比古 専門委員長	本館4階「オパールルーム」	グループⅡ	森 涼 専門委員	本館4階「ガーネットルーム」	グループⅢ	梅村 光久 専門委員	本館4階「ガーネットルーム」	グループⅣ	前田 均 専門委員	本館4階「ガーネットルーム」	グループⅤ	平方 邦行 理事・所長	南館3階「アメシストルーム」
グループ	ファシリテーター	会場																		
グループⅠ	菅沼宏比古 専門委員長	本館4階「オパールルーム」																		
グループⅡ	森 涼 専門委員	本館4階「ガーネットルーム」																		
グループⅢ	梅村 光久 専門委員	本館4階「ガーネットルーム」																		
グループⅣ	前田 均 専門委員	本館4階「ガーネットルーム」																		
グループⅤ	平方 邦行 理事・所長	南館3階「アメシストルーム」																		
17:00～ 18:30	講演	司会 梅村 光久 次世代リーダー育成専門委員 講師紹介・謝辞 中村 道郎 愛光中学・高等学校校長 ☆演 題 「社員教育で悩んでいます。」 ☆講 師 宮内 大介 三浦工業株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO																		
18:40～ 20:00	ネットワーキングパーティ （着席形式）	南館2階<サファイアルーム> 司会 森 涼 次世代リーダー育成専門委員 ☆開会挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長 ☆乾 杯 ☆懇 談 ☆閉会挨拶 前田 均 次世代リーダー育成専門委員																		

講師紹介 宮内 大介（みやうち だいすけ） 三浦工業株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO

1962年生まれ。愛媛県松山市出身、愛光中学・高等学校卒業、京都大学工学部資源工学科卒業、共同石油株式会社を経て、1997年三浦工業株式会社入社。システムイノベーション統括部長、首都圏事業本部長、米州事業本部長、アメリカ法人社長を経て、2016年4月代表取締役社長、社長執行役員。同年7月より現職。



【2日目】 11月18日（金）

9:00～ 9:20	移動 ※8時50分までにANAクラウンプラザホテル松山正面玄関にご集合下さい (※ANA クラウンプラザホテル松山から貸切バス)
9:30～ 11:50	学校視察 愛光中学・高等学校 愛媛県松山市衣山5丁目1610番地1 (伊予鉄道「西衣山駅」から徒歩約10分) 【視察プログラム】
9:30～ 10:00	学校紹介
10:00～ 11:40	施設見学・授業視察 (「愛光学園新校舎建設・70周年キャンパス整備事業」による新キャンパス視察)
11:40～ 11:50	全体会 質疑応答
11:50～ 12:00	閉会式 お礼のことば・総括 菅沼 宏比古 次世代リーダー育成専門委員長
12:00～ 12:30	移動 (※貸切バスでJR松山駅を経由しANAクラウンプラザホテル松山へ) 解散

視察校紹介 愛光中学・高等学校

学校法人愛光学園 理事長 ホアン・ベルモンテ

愛光中学・高等学校 校長 中村道郎

本校は今年、創立70周年を迎えています。

初代理事長ヴィセンテ・ゴンザレス神父様は、

—— カトリック聖ドミニコ修道会の精神に従って、道徳的な点に力を入れて、新時代の日本にふさわしい全人教育を青年たちに与えるということ。このことを学校の基本方針にしたい。——と述べています。

この創設の理念を受けて、田中忠夫初代校長が本校の建学の精神、「われらの信条」を起草しました。

われらの信条

われらは、世界的教養人としての深い知性と、高い徳性を磨かんとする、学徒の集まりである。

学問に対する情熱と、道義に対する渴望とは、われらの生命である。

幾千年にわたる、人類苦心の業績—この高貴なるものに寄せる愛情と尊敬、

これを学びとるための勤勉と誠実、これを伝え、これに寄与するための忍耐と勇気とは、

われら学徒の本分である。

かくて、高貴なる普遍的教養を体得して、世界に愛と光を増し加えんこと、

これがわれらの願いである。

輝く知性と曇りなき愛

愛(Amor)と光(Lumen)の使徒たらんこと！

これが、われらの信条である。

『『世界的教養人』としての深い知性と高い徳性を備えた『愛と光の使徒』を育成すること』、これが本校の不易の理念です。



◇概要◇

本年度当部会は、11月17日（木）～18日（金）、愛媛県松山市・ANA クラウンプラザホテル松山において「未来に思いをつなぐ私学のリーダーシップ」を研究のねらいに開催し、16 都府県から募集人数を超える51名が参加した。

初日の開会式では、平方邦行・当研究所理事・所長の主催者挨拶に続いて、菅沼宏比古・次世代リーダー育成専門委員長長の運営方針説明を述べた。吉田晋・当研究所理事長、近藤彰郎・当研究所理事による講話。参加者同士による意見交換会を挟み、宮内大介・三浦工業株式会社代表取締役社長執行役員 CEO による講演「社員教育で悩んでいます。」を行った。初日最後のプログラムとして、ネットワーキングパーティを行い、参加者は情報交換を行い、交流を深めた。



2日目は愛光中学・高等学校での学校視察を行った。ホアン・ベルモンテ・理事長による挨拶、中村道郎・校長の学校説明につづいて、施設見学を行った。参加者は「愛光学園新校舎建設・70周年キャンパス整備事業」による新キャンパスに目を奪われるとともに大きな刺激を受けた。授業視察では、中学1年生、高校1年生の授業を見学し、参加者は熱心に同校教員に質問をしていた。全体会・質疑応答を行い、最後に菅沼宏比古・次世代リーダー育成専門委員長がお礼のこたば・総括を述べ盛会裡に終了した。

○開会式○

主催者挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

学校の教育活動の要素は、授業とクラブ活動、そして行事だ。この三要素のない学校は私の知る限りない。この三要素を除いても社会的に大きな役割を果たすものがあれば、その学校の教育に独自性があるといえる。21世紀を生きるZ世代やα世代の成長に責任持っているのは、教育をしている私達だ。だからこそ、今の学校は大きな意味、責任を持っている。リーダーを育てると同時に創造性豊かな若者を育成してほしい。



開催地代表挨拶 中村 道郎 愛媛県私立中学高等学校連合会 会長

教育の世界は一見不可能に思えることにchallengeしていく。つまり、「change and challenge」、変革と挑戦の精神が肝要だ。我々が生徒に関わるのは6年間あるいは3年間しかないけれども、この期間に生徒にかけた一言が一生を左右することがあるという重要な仕事に携わっているという誇りと責任を感じ、いつも感動、喜び、イキイキワクワクで生徒に相對していかないといけない。



研修会運営方針説明 菅沼 宏比古 次世代リーダー育成専門委員長

今回の研究のねらい「未来に思いをつなぐ私学のリーダーシップ」の私学のリーダーシップは、各学校でのリーダーシップはもちろんだが、これからの私学全体を牽引していくというリーダーシップを身に付けてほしいということだ。こういう場をつかって、様々なことを吸収して、これからの私立学校全体、全国の私学協会、当研究所を引っ張っていく力を持ってもらいたい。



○講話○

吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所 理事長
日本私立中学高等学校連合会 会長（中央教育審議会委員）

この研修会も13回目だ、次世代リーダーという名前に相応しい人材が生まれている。教育をしている中で、人と言う財産ほど大切なものはない。この次世代リーダー育成部会において、皆さんがネットワークを広げてもらうことは本当に価値がある。これからのリーダーの先生にお願いしたいのは、新しい世界に通用する人材をつくるため、ツールとしての英語とツールとしてのICTを使い、自らが考えることのできる子供を育てることだ。皆さんの力で21世紀を担う子供をしっかりと育ててほしい。



近藤 彰郎 一般財団法人日本私学教育研究所 理事
日本私立中学高等学校連合会 副会長
一般財団法人東京私立中学高等学校協会 会長

私立学校は自校を発展させるのはもちろんだが、一致団結することが大事だ。その時代の困難に協力して対応してきた。そのために様々な人と信念をもってつきあってほしい。我々にあたえられた人生は100年といわれているが、生きる時代を選べない。与えられた時代を賢く、明るく生きてほしい。そして、生徒は学ぶ時代を選べない。生徒を教育できるは我々だけだ。私は対面授業の大事さをあきらめないでやっている。そして、エッセンシャルワーカーとしての務めを果たしていくのが私学の役割だ。私立学校が信念と理念、自校の創立者の掲げた理想を追い求めて、地球上に存在してほしいと思っている。



○意見交換会○

5つのグループに分かれて、参加者同士の意見交換会を行った。今年度から参加者主体の意見交換会とするため司会は指名された参加者が務めた。1時間という限られた時間であったため、もう少し時間があればという声も聞かれるほど、参加者は有意義な情報を交換するとともに日頃の悩みや課題を共有した。



グループ 1



グループ 2



グループ 3



グループ 4



グループ 5

○講演○

「社員教育で悩んでいます。」

宮内 大介 三浦工業株式会社 代表取締役社長執行役員 CEO

宮内大介氏が企業経営者から見た教育、組織、理念、人材などについて講演した。参加者からも多くの質問が集まり、盛況な講演となった。



○ネットワーキングパーティ○

平方邦行・当研究所理事・所長から開会挨拶が行われた。参加者より指名された河合隆徳・学校法人富山第一高等学校副理事長が乾杯の挨拶を行った後、全国からの参加者は幅広く情報交換を行った。参加者の各テーブルから代表者が一言ずつ挨拶をおこない、最後に、前田均・次世代リーダー育成専門委員より閉会の挨拶が行われ、初日を終了した。



平方邦行・理事・所長



次世代リーダーによる乾杯



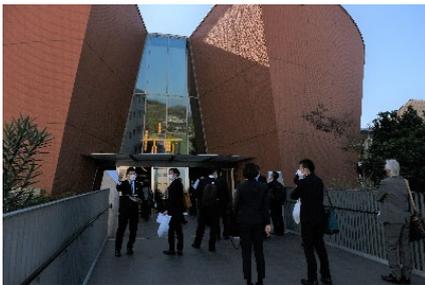
前田均・専門委員



会場の様子

○学校視察○

愛光中学・高等学校の学校視察では、まず、ホアン・ベルモンテ・学校法人愛光学園理事長による挨拶及び「新校舎建設・創立70周年キャンパス整備事業」説明、中村道郎・愛光中学・高等学校校長から「建学の精神」を中心に学校説明が行われた。続く施設見学・授業視察では、「愛光学園新校舎建設・70周年キャンパス整備事業」による新キャンパスを視察し、中学1年生と高校1年生の授業の視察を行った。最後に、同校のICT推進室長も交えた質疑応答を行い終了した。



施設見学・授業視察

○総括○

菅沼 宏比古 次世代リーダー育成専門委員長

この研修会で重要なことは、ネットワークをつくることだ。自分だけで悩む必要はない。ネットワークがあれば必ず同じ悩みをもった先生とつながっていける。皆さんが研修会に参加することで得た管理職として役立つことが最終的に子供たちのためになると信じている。学校に帰って子供たちのために励んでほしい。

◇アンケート抜粋◇

回答数 15 名 / 参加者数 51 名 (回答率 29%)

◆当研修会への参加の目的

- 学園を担う立場に必要なノウハウを勉強するため。
- 宮内氏の講演から職員の心をつなげるヒントを得られないかと期待して参加した。
- リーダー研修と全国の私立学校のネットワークづくりのため。

◆当研修会の各プログラム・内容等について、参考になった点、感想、意見等

講話

- 私立学校の意義を改めて考えるとともに、今後の学校改革の決意を新たにすることができた。
- これからそれぞれの職場を担う者が何を考えなくてはならないか。また私学全体がともに協力し合うことが大切であるということを理解した。
- 私学は各校それぞれが特性を持って運営していかなければならない。建学の精神を基にして本校らしい特性を磨いていく必要がある。

意見交換会

- 各学校の現在の取り組みが知れたので、今後の参考になった。
- 他校を似た悩みを抱えていることを実感した。
- 他校の職員への研修の様子や、独自性、またそれらを教員にどのように共有していくのかといった話ができ有意義だった。もっと長い時間話したかった。

講演

- 企業と学校は同じではないけれど、企業での視点が学校にあてはまることが多いと感じた。新たな視点が広がった。
- 企業と学校にも重なるところがあり、同じように考えることも重要であることや、マサシ君のように多方面から物事を見ることの大切さを学ぶことができた。
- 企業と教育現場を対比してのお話から、学校で心掛けねばならないことが見えた気がする。

ネットワーキングパーティ

- いろいろな学校のいろいろな立場の方の経験や話が聞けて、とても勉強になった。
- 役員の方ともゆっくりお話しできる時間となり、非常に有意義であった。
- 美味しいお料理と共に、他校の先生方と語り合うことができて、貴重な時間でした。

学校視察

- 崇高な理念のもと、現役で合格することを目指すことなどを迷わず目指しておられる点に感銘した。校舎建築についても思い切りの良さに感心した。
- 先を見据えた学校づくりがされており、独自性もあるところが、自校に足りない部分であると感じた。今後の参考にさせていただきたい。
- 建学精神、先生方、校舎など素晴らしく、圧倒された。参考にさせていただきたい部分が数多くあった。

◆当研修会への要望

- 経営と一般教員をどのようにより良い形をつなぐのか。(テーマ)
- 日本の学校の古き良き習慣や伝統を現在や将来にどう活かすか。(テーマ)
- 異業種の方の講演。(講演)
- ICTを活用した授業を実践している学校等の視察。(視察校)
- 意見交換会の時間をもう少し長くしてほしい。小グループでテーマを絞ってもよいのではないかと。(意見交換会)

◇都道府県別参加者数◇

No.	都道府県名	人数	No.	都道府県名	人数	No.	都道府県名	人数									
1	北海道	0	9	茨城	0	17	石川	0	25	滋賀	0	33	岡山	1	41	佐賀	0
2	青森	0	10	栃木	0	18	福井	0	26	京都	2	34	広島	4	42	長崎	0
3	岩手	0	11	群馬	0	19	山梨	0	27	大阪	7	35	山口	1	43	熊本	2
4	宮城	0	12	埼玉	0	20	長野	0	28	兵庫	0	36	徳島	0	44	大分	0
5	秋田	0	13	千葉	1	21	岐阜	5	29	奈良	0	37	香川	0	45	宮崎	0
6	山形	0	14	神奈川	2	22	静岡	3	30	和歌山	0	38	愛媛	5	46	鹿児島	1
7	福島	0	15	東京	11	23	愛知	2	31	鳥取	0	39	高知	0	47	沖縄	0
8	新潟	0	16	富山	1	24	三重	0	32	島根	0	40	福岡	3			
													16 都府県		計	51	